

会報

METAL FORM

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

No. **55**
2015年7月

**MF-Tokyo 2015 プレス・板金・フォーミング展
開催直前号**

CONTENTS

ぽてんしゃる

- 2** 新たな取り組みで会員の販路拡大や工業会の活性化を促す。
 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 代表理事会長
 コマツ産機株式会社 代表取締役社長 川西 宣明

報告

- 3** 「第67回定時総会」ならびに「MF優秀社員表彰式」「MF功労賞贈呈式」を開催
 川西 宣明新会長を選出
 新たな取り組みとして、会員の海外展開サポートや販路開拓などを積極推進し、会員増加に伴うMF-Tokyoなどの既存事業拡充を目指す

MF-Tokyo 2015 INFORMATION①

- 5** MF-Tokyo 2015 プレス・板金・フォーミング展 今月15日より、いよいよ開幕!

MF-Tokyo 2015 INFORMATION②

- 6** MF-Tokyo 2015 主催者企画 時代を支えたベストマシン

MF-Tokyo 2015 INFORMATION③

- 7** 出展者・出展製品一覧

新入会員紹介

- 9** 株式会社 エステーリンク
10 協和マシン株式会社
11 株式会社 阪村ホットアート
12 株式会社 フリーベアコーポレーション

統計

- 13** 2014年 鍛圧機械の世界生産金額と各国シェア
 ～日本鍛圧機械工業会が各種データをもとに推計～

INFORMATION FILING

- 15** 鍛圧機械 全会員受注グラフ(2014年度業況調査)／鍛圧機械 全会員受注グラフ(月次業況調査)／新聞報道から見た会員動向(2015年3月～2015年6月)／国際シンポジウム「TUBE & PIPE OSAKA 2015」の開催案内(日⇄英同時通訳付き)／公益財団法人 神奈川科学技術アカデミー(KAST)によるセミナーの案内

組織

- 18** 2015-2016年度 委員会・専門部会委員一覧

工業会の動き (4月～6月)

定時総会

・第67回(5月15日)決算、役員改選、懇親会・芝パークホテル

顕彰

・(5月15日)MF功労賞贈呈式、MF優秀社員表彰式・芝パークホテル

理事会

・第34回(4月21日 書面)決算承認
 ・第35回(5月15日)役員人事・芝パークホテル

会計監査

・(4月16日)2014年度会計監査

委員会

■ISO/WG1対策委員会
 ・第28回(4月17日)米国フロリダ州・サラソタでの国際会議結果報告
 ■ISO/WG12対応チーム委員会
 ・第13回(5月21日)ISO/TC39/WG12イタリア・アリミニでの国際会議結果報告

MFエコマシン認証

■MFエコマシン認証審議会
 ・第28回(6月2日)MFエコマシン認証審議

専門部会

■MFスーパー特自検策定チーム
 ・第16回(5月26日)MFスーパー特自検制度の対象機種追加について
 ■レーザー・プラズマ専門部会
 ・第1回(6月11日)ファイバーレーザー加工機安全講習テキスト内容の審議
 ■サービス専門部会
 ・第1回(6月23日)MFスーパー特自検制度の実施状況と定期検査制度策定について
 ・第11回(3月24日)「油圧プレスメンテナンス(入門編)」の作成について
 ■関連機器專業専門部会
 ・第1回(6月30日)海外展開等今後の活動テーマについて



会報 METAL FORM No.55 2015年7月

発行所／一般社団法人 日本鍛圧機械工業会
 〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館3階
 TEL.03-3432-4579 FAX.03-3432-4804 URL : <http://www.j-fma.or.jp>
 発行人／井上 尚行 発行／季刊：1月、4月、7月、10月の4回発行

■本誌に掲載した記事の無断転載を禁じます。

新たな取り組みで 会員の販路拡大や工業会の活性化を促す。

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 代表理事会長
コマツ産機株式会社 代表取締役社長

川西 宣明



日本鍛圧機械工業会は、60余年に亘って鍛圧機械や板金機械産業の発展を担ってきています。ここまで成長してきている当工業会の代表理事会長をお引き受けする事は、身が引き締まる思いがいたします。

現状、国内の景気は円安の追い風もあって回復基調にあり、国内における自動車製造業や金属製造業が好調な動きを示しています。また海外においても、東南アジア等の新興国では低調でしたが北米やメキシコが堅調で、鍛圧機械の受注総額は、3,270億円と前年度比9.2%増で、2015年度も堅調に推移するのではないのでしょうか。アベノミクスによる経済効果は、まだ中小企業など隅々まで行き届いているとは言いがたいと感じています。しかし、生産性向上設備投資促進税制や省エネルギー設備導入補助金などの施策が打ち出されていますので、当工業会としてもその様な国の施策を掴まえて、会員企業の受注に繋がるように取り組んで行く考えです。

当工業会の今年度事業計画では、MF-Tokyo 2015の開催、会員企業の販路拡大を目指して日本工作機械販売協会との交流、海外展示会への積極的な参加などを掲げています。

まずMF-Tokyo 2015ですが、今回で4回目の開催を迎え、過去最大の222社1,303小間での開催となります。例年と同様に東京ビッグサイトの三つのホールを使用しますが、出展申込みの締め切り期限前に予定小間数に達したと聞いております。満小間での開催

は初めてで、これも会員企業の積極的な出展と会員外からも多くの出展を頂いたお陰と感謝しております。また、海外からの出展も250小間と過去最大規模で、海外での認知も高まってきているのではないのでしょうか。ですので、会員を始めとする出展者の皆さんには、ご来場のお客様が満足頂けるように製品や技術の説明をして頂けたらと思っております。

日工販との交流については、初回の交流会を、人の集まりやすさも考慮してMF-Tokyo 2015の会期中、二日目の16日に実施を予定しているので、会員各位は奮ってご参加頂きたいところです。

5月下旬に上海で開催されたDMC展には、主催者から当工業会に無料提供されたブースを活用して、事務局が募集を行い7社の会員が参加しました。このような取り組みは、これまで無かったようですが、来年の1月にはインド・バンガロールでのIMTEX展では、ジェットロと連携して日本パビリオンでの会員出展を取り纏めるなどの動きも具体化していますし、米国・シカゴで開催のFABTECH展視察など積極的に展開していきます。

新しい事業だけでなく、本年1月1日よりスタートしたMFスーパー特自検制度の普及拡大やISO国際会議での活動などを通して工業会の存在価値を高め、今まで以上に会員の皆さんが工業会活動に参加したくなるように取り組んで行きたいと考えております。

(談)

報告

「第67回定時総会」ならびに 「MF優秀社員表彰式」「MF功労賞贈呈式」 を開催

川西 宣明新会長を選出

新たな取り組みとして、会員の海外展開サポートや販路開拓などを積極推進し、会員増加に伴うMF-Tokyoなどの既存事業拡充を目指す

定時総会 / MF優秀社員表彰式

一般社団法人日本鍛圧機械工業会は5月15日（金）に東京・港区の芝パークホテルにおいて、第67回定時総会（一般社団法人移行後第7回）ならびにMF優秀社員表彰式を開催した。

定時総会は午後3時に開会、来賓として経済産業省素形材産業室室長補佐の坪川 薫氏をお迎えし八木 隆代表理事会長の挨拶に続いて議事進行に入り、報告事項として「2014年度事業報告」がされ、「2015年度事業計画」並びに「正味財産増減予算」を資料に基づき説明。2015年度の重点実施活動については、この7月のMF-Tokyo 2015の開催をはじめ既存事業の拡充が掲げられたが、新たな取り組みとして会員企業の海外展開のサポートや販路拡大を積極的に推進していくとの報告がなされた。

次に決議事項として、第1号議案の「一般社団法人日本鍛圧機械工業会の2014年度の決算書」を承認。第2号議案として「一般社団法人日本鍛圧機械工業会の理事」を14名選任し、第3号議案「一般社団法人日本

鍛圧機械工業会の監事」2名を選任後、第35回理事会を開催し、代表理事会長にコマツ産機株式会社代表取締役社長・川



就任の抱負を語る川西 宣明新会長

西 宣明氏を選出した。また理事副会長、専務理事、各委員会委員長が下掲のとおり選任された。選任理事は総会に参加した会員企業にも報告され、総会は終了となった。

総会終了後、総会と同会場でMF優秀社員表彰式が行われた。表彰は「技術賞」「技能賞」「海外賞」「サポート賞」の4部門が設けられ、次ページに掲載されているようにそれぞれの部門で功績のあった8社16名の方々が表彰された。

2015-2016年度 役員一覧（2015年5月15日現在）

<代表理事会長>

川西 宣明 総会議長、理事会議長
コマツ産機株式会社 代表取締役社長

<理事副会長>

宗田 世一 企画委員会委員長
株式会社 エイチアンドエフ 代表取締役社長
北野 司 技術委員会委員長
アイダエンジニアリング株式会社 上席執行役員
内田 百馬 関東地区部会部会長
オリイメック株式会社 代表取締役社長
浜川 善和 広報見本市委員会委員長、
レーザ・プラズマ専門部会部会長
トルンプ株式会社 取締役副社長
三須 肇 関連機器専門部会部会長
株式会社 理研オブテック 代表取締役社長

<専務理事（員外理事・業務執行理事・常勤）>

井上 尚行 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

<理事>

木村 富美雄 調査統計委員会委員長
株式会社 アマダホールディングス 秘書室長
前田 彰 サービス専門部会部会長
村田機械株式会社 常務取締役
岡田 博文 鍛造プレス専門部会部会長
株式会社 栗本鐵工所 取締役機械システム技術担当
児玉 正蔵 油圧プレス専門部会部会長
株式会社 小島鐵工所 代表取締役社長
網野 雅章 中小企業青年委員会委員長
株式会社 アミノ 代表取締役社長
阿比留 憲史 中部関西地区部会部会長
旭精機工業株式会社 常務取締役
兼重 和人 住友重機械工業株式会社 取締役常務執行役員

<監事>

相澤 邦充 株式会社 相澤鐵工所 代表取締役社長
大川 雅子 株式会社 コニック 代表取締役社長

<顧問>

高瀬 孔平 第15代 代表理事会長
八木 隆 第16代 代表理事会長
松本 憲治 前専務理事

MF功労賞／懇親会

総会ならびにMF優秀社員表彰式を終了後、会場を移して午後4時よりMF功労賞、MF功績賞とMF感謝状の贈呈と懇親会が開催された。

MF功労賞は顕著な業績をあげた元役員に感謝し顕彰するもので、今回は第15代会長高瀬 孔平氏が受賞。表彰盾は第14代会長春山 紀泰氏から手渡された。MF功績賞は委員会活動等の活性化に尽力されたコマツ産機株式会社の畑 幸男氏に、MF感謝状は当工業会をはじめとした鍛圧機械産業界に貢献された独立行政法人労働安全衛生研究所の齋藤 剛氏に、新任の川西 宣明会長から贈呈された。

続いて開かれた懇親会では、まず川西新会長が挨拶で就任の抱負を述べ、引き続いて経済産業省素材産業室・船橋 善啓室長補佐ならびに日本塑性加工学会・吉田 一也副会長から挨拶をいただいた。

来賓の挨拶に続いて行われたのが新入会員の紹介。小池酸素工業、ティーエスエイチインターナショナル、バイカルジャパン、富士商工マシナリー、三菱長崎機工、ヤマサキマザック オプトニクス、6社の代表者が壇上に立ち、会社紹介と入会にあたっての抱負を語った。昨年の7月頃より新入会員が増え、現状の会員数は105社を数えることとなった。

高瀬元会長による乾杯の発声ののち懇親が始まった。参加者も多く活気ある中、会員相互の親交が深められた様子であった。

MF功労賞・功績賞・感謝状 受賞者一覧

MF功労賞	
高瀬 孔平	第15代会長
MF功績賞	
畑 幸男	コマツ産機
MF感謝状	
齋藤 剛	労働安全衛生研究所

MF優秀社員表彰 受賞者一覧

技術賞	
橋向 喜春	アイダエンジニアリング
秋山 茂和	アミノ
石原 裕揮	オプトン
坪田 勝利	栗本鐵工所
高橋 慎二	コニック
技能賞	
菅原 精吾	相澤鐵工所
柴田 勝美	アイダエンジニアリング
山田 佳嗣	アミノ
亀井 優樹	オプトン
望月 清	しのはらプレスサービス
那須 重成	村田機械
飯田 珠男	ムラテックCCS
海外賞	
竹重 充訓	アイダエンジニアリング
サポート賞	
山田 大志	アミノ
中山 典	しのはらプレスサービス
堀越 和弘	しのはらプレスサービス



MF優秀社員表彰者と新役員との記念撮影



工業会に貢献された皆さんの記念撮影
(左から齋藤氏、川西会長、畑氏、高瀬氏)



船橋 善啓氏
経済産業省素材産業室室長補佐



吉田 一也氏
日本塑性加工学会副会長



新入会員6社の代表者が挨拶

～塑性加工はロマンか、スマート&クール鍛圧機械～

『MF-Tokyo 2015 プレス・板金・フォーミング展』

今月
15日より、
いよいよ
開幕!

会期 7月15日(水)～18日(土) 10:00～17:30(最終日は16:00まで)

会場 東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

プレス・板金・フォーミング展

METAL FORMING & FABRICATING FAIR TOKYO

塑性加工はロマンか、スマート&クール鍛圧機械

MF-Tokyo 2015

<http://www.mf-tokyo.jp>

会期：2015年7月15日(水) 18日(土) 10:00～17:30 (土曜日は16:00まで)

会場：東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

主催：Jf一般社団法人日本鍛圧機械工業会 / 日刊工業新聞社

後援：経済産業省 / 厚生労働省 / 環境省(申請予定)
 特別協賛：日本塑性加工学会 / 日本鍛造協会 / 日本金属プレス工業協会 / 日本金型工業会 / 日本ばね工業会 / 日本ねじ工業協会
 協賛：日本自動車工業会 / 日本電機工業会 / 日本建設機械工業会 / レーザ加工学会 / 日本溶接協会
 海外協賛：中国机床工具工業協会 / 中国鍛圧協会 / 中国国際工業博覧会 / インド工作機械工業会 / アメリカ製造技術工業会 / 台湾区機器工業同業公会 / 韓国工作機械産業協会 (略)

MF-Tokyo 2015 プレス・板金・フォーミング展が、7月15日より、いよいよ開幕いたします。223社1,304小間という過去最大規模での開催で、国内企業の出展もさることながら、海外からも17カ国66社251小間の出展とこれも過去最大となります。展示会は、景気動向の影響を受けやすいものなので日本の経済状況が着実に回復基調を示し、また併せてMF-Tokyoが「鍛圧機械の専門展示会」として国内外に認知されてきた証といえるかもしれません。

今号では、主催者企画として会場で展示される「時代を支えたベストマシン」の紹介と、出展各社の主な展示内容を紹介いたします。MF-Tokyoは、出展各社の展示と併せ、6本のシンポジウムや日本塑性加工学会を始めとする「学会テクニカルセミナー」と「出展者テクニカルセミナー」など先端の技術情報も得られる“場”となっております。シンポジウム、各種セミナーのプログラムは、ホームページをご覧頂ければ幸いです。

関係各位のご来場をお待ちいたします。ホームページで来場登録する事からスタートしてください。

www.mf-tokyo.jp



前回のMF-Tokyo 2013写真

MF-Tokyo 2015 時代を支えたベストマシン

現在、ユネスコの世界遺産や無形文化遺産、日本機械学会の機械遺産など、現在を形作っているこれまでの偉大な業績が称えられています。MF-Tokyo 2015でも日本鍛圧機械工業会の会員企業から募り、4つの歴史ある機械を展示します。これらは日本の高度経済成長を支えた昭和の名機と言えます。ここに掲載する各社の展示機械の説明は、会場でのパネル掲出と同様の内容です。会場では、実機を展示しますので、ご来場の折りはじっくりとご覧頂ければ幸いです。

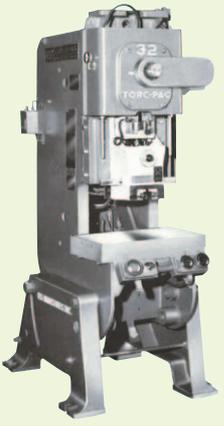
株式会社 アマダ TP-32 1号機

このプレスは、1965年(昭和40年)に米国ユー・エス・インダストリー社と技術援助契約した後、TP-45を軸に、TP-22、TP-32、TP-60の約100台をTORC-PACの名称で輸入し、1968年に当社で販売したTP-32の1号機です。

加圧能力は320kN(32トン)、ストローク長さ76.2mmで毎分ストローク数は90回、当時小型プレスの主流だった確動クラッチや乾式クラッチに代わる画期的な湿式クラッチプレスで、可傾式のため単発作業時の製品排出が便利でもあり話題を集めました。

構造としては、小型トルクバック構造を搭載し、クラッチ/ブレーキのコンパクト化とエネルギー能力を兼ね備えています。ブレーキをゆるめると同時にクラッチが入るように設計されており、クラッチ/ブレーキが重複して入らないように、タイミングを考慮しています。また、オイルバス内での金属製の摩擦板は、非常に寿命が長く高性能でした。

これら基本技術は、TP-32⇒TP-35⇒TP-35C⇒そして現在のTP-35FXに受け継がれ、展示されている同シリーズは、小型、中型、ダブルなど約50,000台が国内外に出荷されています。日本の高度成長期を支えとともに、現在まで50年続くロングセラーの礎となる、アマダ汎用プレスマシンとなりました。



株式会社 ニッセー 手動カム式転造盤

このねじ転造盤は、1957年(昭和32年)に当社で初めて開発生産された1号機です。

当社は昭和14年3月に設立されました。

創業当初はねじの切削工具のタップ・ダイスの生産をしていました。

その後、生産性向上の為に社内加工用で昭和30年11月にカム式のねじ転造アタッチメントを開発しました。

そして、昭和32年に営業品目に精密機械の製造販売を加えて、Comet精密ねじ転造盤として「FA3型」を販売開始しました。

その後、カム式転造盤、油圧式転造盤、3ダイス転造盤、CNC転造機を開発・販売して58年間、お客様の生産性に寄与したことは当社の誇りでもあります。



村田機械株式会社 タレットパンチプレス
ウイデマン(Weidemann) R2型

米国のウイデマン・マシンカンパニーにより、1934年(昭和9年)に開発された手動タレットパンチプレス「R2」は、その後1962年(昭和37年)に発表された世界初のCNCタレットパンチプレスA-30型へと進化します。

本展示機は、この初期の「R2」と同型のものでした。

村田機械は、板金加工分野のバイオニアとして成長したウイデマンと、1970年(昭和45年)に提携して販売を開始し、1972年(昭和47年)には「W4560」の国産化を始めました。

1980年代にはプラズマ複合機、レーザ複合機や大規模FMSを構築し、1994年(平成6年)には世界初のサーボモーター駆動式タレットパンチプレスを開発・販売と、日本の板金業界とともに発展してきました。

今から約80年前にこの世に生を受けたタレットパンチプレスは、正確・高速に、高品質・高機能な製品を、エコに加工するという思想のもと、大きく進化してきました。

このR2型タレットパンチプレスの基本思想は、1989年(平成元年)に村田機械がウイデマンを買収した後も受け継がれています。

本展示機は、ウイデマンのバイオニアスピリットの象徴として、当社犬山事業所の玄関でお客さまをお迎えしています。



株式会社 山田ドビー DOBBY-20-001号機

このプレス機は1962年(昭和37年)に当社で開発生産された1号機です。

加圧能力は200kN(20トン)、ストローク長さ30mmで最高回転数は150SPM、本体価格は¥330,000であり、能力及び価格も非常に話題を呼んだプレス機でした。

技術的な特徴として、①剛性を高めた構造 ②送り装置を装備した自動プレス ③高速対応構造が挙げられます。これらの特徴は、当時のプレス機の常識を打ち破ったものでした。

この展示品と同仕様のプレス機は、これまでに約25,000台生産され、国内及び海外の多数のお客様に、山田ドビーを高速精密プレス機のトップメーカーとして位置付けて頂いた製品であります。

この1号機は1962年に愛知県にある(株)東郷製作所様に販売され、2000年9月まで実際に工場稼働していた製品を当社に寄贈していただき、当社において復元修理したものです。

販売から38年間、お客様の生産に寄与したことは当社の誇りでもあります。



出展者・出展製品一覧 ※は共同出展者

(50音順・アルファベット順・法人格略) 2015年6月 現在

- E2-11 **IHI**
プレス工程間搬送装置、回生サーボクッション、FAシステム
- E3-28 **相澤鐵工所**
プレスブレーキ、全剪断シャーリング
- E1-33 **アイシス**
3クランク高速精密プレス PLENOX100-11 II、3クランク高速精密プレス PLENOX60-13 II、高速精密プレス G110S-11、サーボ駆動式ダイイングプレス(可搬式) DM15 III
- E2-60 **アイセル**
摩擦摺接合装置、クイックベンダー、ガイドローラー溶接装置
- E1-42 **アイダエンジニアリング**
プレス機械
- E1-48 **アクア化学**
①加工油(塩素フリー加工油、乾燥性加工油)
②溶剤(炭化水素溶剤、高機能炭化水素溶剤、炭化水素系水置換剤)
③洗浄機システム(炭化水素系、水系)
- E3-17 **アクセプト**
※ EXCEED
ばね加工機、ばね用研磨機
- E2-17 **アサイ産業**
プレス機械 PRパネル、ビデオ紹介
- E2-21 **旭サナック**
SRF200-7 パーツフォーマ
- E2-51 **旭精機工業**
フォーミングマシン、ばね製造機械
- E1-15 **アフライドデザイン**
QForm8、Qform Extrusion 他
- E1-43 **アマダ/アマダマシンツール**
デジタル電動サーボプレス SDE-2025 (SF) ほか
- E1-31 **アミノ**
リンクサーボによるホットフォーミング
- E2-12 **イグス**
ケーブル保護管、可動ケーブル、ベアリング各種
- E2-03 **石岡工業**
プレス加工品
- E2-54 **板屋製作所**
スプリングマシン、フォーミングマシン、スプリングフォーミングセンター、コイルリングマシン
- E1-35 **伊藤製作所**
タイセツ、金型
- E3-24 **井上産業**
NCローリングマシン、ツインローリングマシン
- E3-20 **インテリンク**
スプリングフォーミングマシン
- E3-25 **WEL-KEN**
ハイブリッドファイバー溶接機 HF1500
- E1-17 **内田工機**
出張用加工機(コンパクトフライス・穴あけ機)、油圧ユニット
- E1-38 **エイチアンドエフ**
新製品、新技術のパネル、実機写真、ビデオによる紹介
- E3-22 **エイム**
YAGレーザー溶接機、回転溶接治具、直線走行治具
- E2-61 **エーエス**
コイルバネ防振装置、エア搬送装置(アスクロシユーター)
- E1-65 **エー・ビーアンドティー**
成形製品サンプル展示
- E3-68 **エコーレド・ジャパン**
クラフトフォーマー KF340型、レバラー加工サンプル類など
- E2-01 **エスエヌティ**
超音波洗浄装置
- E1-25 **SCSK**
鍛造CAEソフトウェア「FORGE」
- E3-13 **エステーリング**
R面取り装置 メタルエステ、メタルエステ600、メタルエステ1300、3Dクランプ定盤 siegmund社製定盤
- E1-34 **エヌエスシー**
エアドリップハンマ模型、アルミ合金鍛造品サンプル
※ 補精工
- E1-03 **NTT データエンジニアリングシステムズ**
鍛造解析ソフトウェア
- E1-30 **榎本機工**
サーボモーター駆動スクリュウプレス
- E3-74 **エフティアイ・ランドジャパン**
CAD/CAM/CAEソフトウェア
- E2-56 **オ・エス・ワイ**
カタログ
※ 3View.Com
モニター(工程管理システム)
※ JERN YAO
ビデオ・カタログ
- E1-58 **大石機械**
金型用ガスクッションシステム
- E3-16 **オオシマ設備**
※ サカイ工機
新型 高速ねじ画像検査装置
- E3-10 **オーセンテック**
R面取り装置 AuDeBu1000、AuDeBu600、洗浄装置 AuDeBu Racocon
- E1-18 **オーツカ**
プレス関連機器
- E2-33 **大峰工業**
大峰チップコンベヤ タテ型、フロア型

- E2-65 **奥野機械製作所**
RMF-50DWCS9型 ウェーブスプリング成形機
- E2-48 **オプトン**
ロボット式ベンダー、スイッチベンダー、3Dスキャナー、DDV式油圧サーボポンプ
- E1-68 **オリメック**
プレス自動化装置、精密ばね成形機、超音波加工機、多層加工機
- E1-04 **片桐製作所**
精密鍛造金型、超硬合金素材、精密冷間鍛造部品
- E1-40 **型研精工**
トランスファ送り装置: 3Dシングルバーサーボタイプ、3Dダブルバーサーボタイプ、3D高速メカニカルタイプ、
金 型: トランスファ金型(IQLダイセット構造)、IC LEAD FRAME金型、
展示塔: サンプル、動画、パネル
- E2-07 **加藤製作所**
自動車用精密プレス深絞り部品等、絞り、プレス加工100%
- E3-41 **金型新聞社**
金型しんぶん、金型工場名鑑(東日本/西日本編)
- E2-49 **兼松KGK**
SMERAL社(チェコ) サンプル品、GFM社(オーストリア) サンプル品、パネル 他
- E1-60 **川崎油工**
製品サンプル、パネル
- E2-37 **ギア**
サーボタップ
- E2-70 **キヤドマック**
3次元CAD、2次元CAD/CAM
- E3-76 **キョウシンエンジニアリング**
カタログ、写真パネル、動画
- E3-21 **協同エンジニアリング**
ワイヤーフォーミングマシン、ワイヤーベンダー
- E2-02 **協和工業**
冷間成形用潤滑剤塗布装置 FLO~JIT
- E3-27 **協和マシン**
パネルベンダー
- E3-62 **旭光製作所**
プレスブレーキ用金型
- E2-39 **グリーンプラス**
アルミ軽量レール、吸着システム
- E1-28 **栗本鐵工所**
サーボプレスを始めとする各種最新鍛造プレスと自動化機器、円錐曲げベンディングロール
※ ケイエステック
トランスファプレス、プランキングプレス、ピレットシャー
- E2-04 **ケツト科学研究所**
油膜塗布量測定器 マイクロダーム BTF、デュアルタイプ膜厚計 LZ-373、デュアルタイプ膜厚計 LZ-990
- E1-12 **グルフ・ジャパン**
プレス用防振装置
- E2-30 **ケンテック**
鋼管用プレスカッター
- E3-35 **向洋技研**
テーブレスポット溶接機、高速溶接技術
- E2-69 **ゴショー**
※ SACMA Limbiate
ヘッダサンプル、紹介パネル
- E2-68 **コーレンス**
※ DREISTERN
※ FICEP
※ Heinrich Mueller Maschinenfabrik
※ Otto Bihler Maschinenfabrik
※ Wafios
- E1-51 **小島鐵工所**
各種油圧プレスの写真パネル、リングローリングミルの写真パネル、Oilgear社製油圧機器の紹介パネル、約1世紀前に製作された水圧プレス
※ オイルギャジャパン
- E2-16 **コスメック**
金型交換システム
- E2-71 **コニック**
NCタレットパンチプレス用金型、プレスブレーキ用金型、板金用CAD/CAMシステム
- E1-44 **コマツ産機**
ACサーボプレス H1F-2、ファイバーレーザ KFL、ハイドロACサーボドライブ PVS
- E1-59 **小森安全機研究所**
プレスブレーキ用安全装置、光線式安全装置、安全柵
- E3-43 **コロナ社**
出版物販売
- E2-20 **阪村機械製作所**
5段式サーボフォーマー
- E2-73 **佐藤商事**
※ FONTIJNE GROTNES
※ LEIFELD METAL SPINNING
- E3-51 **サルバニーニジャパン**
ファイバーレーザ L5-30 4kW、コンパクトハイブリッドパネルベンダー P2lean
- E2-32 **サンエイ**
スクラップ搬送用コンベア
- E1-36 **サンエイテック**
加工油塗布装置 他
- E1-63 **三起精工**
100KNカーボン成形プレス
- E2-35 **三共製作所**
プレス用送り装置 バリアックス VS150、バリアックス V127

- E3-05 **三桂機械**
9段パーツフォーマ、超音波発振器、振動子ユニット
※ 藤製作所
画像選別機 Accurate Image System 360+、
ねじ、ボルト転送圧チエッカー Accurate Wave-II
※ マツモトマシナリー
9段パーツフォーマ、超音波発振器、振動子ユニット
- E3-30 **三秀工業**
板金加工品
- E2-45 **サンデスト**
センサ、制御機器(サーボコントローラ等)
- E2-40 **三徳商事**
クリンチかしめ機 P35S、セルフピアスリベットリブセット 及び 締結装置、連続打ち、広範囲締結プラインドリベット ネオスピード
- E3-02 **サンメンテナンス工機**
精密濾過装置
- E3-01 **シーケービー**
転造盤メーカー GROB社 サンプル展示、プレス総合メーカー Schuler社 紹介、防振マウント製造メーカー VIBRO社 紹介
- E2-09 **シージーケー**
サーボプレス MS-3000、サーボプレス HMS-1000、メカニカルプレス ML-3000
- E1-52 **ジェイアンドシー**
プレス金型、金型パーツ一式
- E1-19 **JSOL**
プレス成形シミュレーションシステム JSTAMP、鍛造解析ソフトウェア AFDEX
- E3-66 **シグマテックジャパン**
切断 漸新用 CAD/CAM
- E1-26 **しのはらプレスサービス**
お客様の工場で工事可能なレトロフィットラインアップ
- E3-31 **益谷工業**
ファイバレーザ加工機
- E2-46 **シュマルツ**
搬送ロボット
- E3-42 **高工経済新聞社**
出版物 PR
- E2-06 **昭和精工**
ファイブプランキング用金型パーツ、ファイブプランキング製品、プレス製品
- E1-61 **シルバロイ**
超硬合金(耐摩具用)、サーメット(耐摩具用)、銅タングステン、銀タングステン
- E3-06 **シンコマシンツール**
コイルリングマシン、フォーミングマシン
- E2-14 **杉山電機システム**
ミス検出装置、塗油装置、ボックスチェンジャー
- E1-06 **SCREEN ホールディンクス**
鍛造部品自動検査装置 IM-3100
- E3-34 **住谷製作所**
ロールベンダー
- E1-57 **西研クラフティックス**
ワークサンプル 他
- E1-16 **ゼノ・テック**
金型加工サンプル、成形品 等
- E3-60 **ゼロフォー**
板金・製缶用 原価・見積り計算ソフト
- E3-03 **善光商事**
ヘッダー
- E2-58 **大東スピニング**
リニア、ロボスピ、1000型スピニングマシン
※ 産業技術総合研究所
- E3-19 **大平製作所**
ワイヤーフォーミングマシン、芯金式コイルリングマシン、パネ自動研削盤、湿式両頭研削盤のご紹介
- E1-22 **太平貿易**
※ IMI Precision Engineering
EOAT(エンドオブアームツールリング)、2枚金属シート検出システム、搬送フィッガーシステム
- E2-47 **ダイマック**
サーボプレス、NCグリッフィング、NCロールフィダ
- E3-48 **大陽日酸**
レーザ加工用空素ガス供給システム
- E1-24 **大和電業**
機械・制御盤周りの電装品: フレキ(電線保護管)、コネク、ケーブルコネクタ、操作盤用回転コネク、安全対策品のインターロックプラグ、制御盤用熱関連機器、その他各種電装品
- E3-08 **宝精密**
パネ製造機
- E1-45 **伊達機械**
プレス用自動化装置
- E3-46 **ティーエスエイチインターナショナル**
ウイングバンド(金型)
- E3-04 **ティーエスプレジジョン**
フォーミングマシン SF150
- E3-69 **東栄工業**
シートメタル用タッピングマシン
- E1-54 **東洋プレジジョン**
金型プレート
- E1-49 **トックス プレソテック**
プレス機械
- E2-53 **トルンプ**
TruPunch 5000、TruMatic 6000 fiber、TruLaser Cell 3000、TruBend 5085SX、TruLaser 3030 BrightLine fiber
※ エフエーサービス

- E1-67 **中島田鉄工所**
2ダイ3ブロー ホットフォーマー
※三明製作所
THI-16R
※三豊機工
圧造工具全般
※Accuvision Technology
4CCDネジ&ナット画像選別機、渦電流装置
- E2-62 **中田製作所**
展示品:パネル展示、紹介内容:ODF成形法の紹介
- E2-55 **西島**
超硬丸鋸切断機、サンプル品、転造盤、サンプル品
- E1-03 **ニチダイ**
精密鍛造金型
- E1-20 **日刊工業新聞社**
MF-Tokyo 関連雑誌・書籍、新聞
- E3-44 **MF-Tokyo** 関連雑誌・書籍、新聞
- E3-75 **日伸工業**
プレス部品各種
- E3-23 **ニッセー**
ギア仕上げ転造機「ギアロール Z-Comet」、その他サンプル・パネル展示
※岩谷産業
- E2-41 **日本タツバー**
タッピングマシン
- E1-11 **日本アキユムレータ**
プラダ形アキユムレータ
- E3-49 **日本ウエルディング**
YAGレーザー溶接・切断機 SRY-45P
YAGレーザー溶接・切断機 PLS-P30EX
- E2-43 **日本エリコンバルブサーズ**
金型
- E1-37 **日本オートマチックマシン**
サーボプレス、油圧プレス
- E2-72 **日本計測システム**
ばね試験機、ねじ締付け試験機、トルク試験機
- E2-08 **日本スピードショア**
※ヤマシタワークス
エアロラップ(鏡面仕上げ機) YT-100、YT-300
- E1-32 **日本電産シンボ**
主要展示物:サーボプレス×1台、高速精密プレス×1台、実演:両機共にあり
- E1-10 **日本ハードウェア**
冷間鍛造用金型、塑性加工シミュレーション実験装置
- E2-38 **日本フェイウィック**
※GOIZPER Group
エアークラッチブレーキ、油圧クラッチブレーキ、ローターシール
- E2-42 **日本フォーミング**
加工品サンプル
- E1-64 **能率機械製作所**
プレス機 LEM2110D、LEM3936.2
- E3-71 **ノリタケカンパニーリミテド**
超硬丸鋸切断機
- E3-50 **バイカル・ジャパン**
440トン6m大型プレスブレーキ可変式Vダイ付き、300トン3m大型プレスブレーキ 3Dコントローラー ITACA付き、3D曲げソフトCAL
※大塚商会
- E2-75 **パイプ加工機械工業会**
ALL-AC サーボ CNCパイプベンダー、パイプベンダー、パイプ端末加工機、油圧ポンプ等
※オスガマシン
※京葉ベンド
※大洋エンジニアリング
※日東造機
- E3-61 **橋本テクニカル工業**
スーパーローラー SPC/W-20
- E1-50 **パスカル**
クイックダイチェンジシステム、ダイクッションワークサンプル、金型交換台車動画
- E2-50 **ハテバージャパン**
冷間フォーマー CM 4-5 ECO、鍛造品サンプル
- E3-40 **ばね新聞社**
MF-Tokyo 特集「旬刊ばね新聞」、2015年度版ばね企業年鑑
- E3-14 **東田機工**
※三立機械研究所
平ダイス式ローリングマシン 他
- E1-05 **枚岡合金工業**
冷間鍛造部品及び鍛造部品
- E2-76 **ファインツール・ジャパン**
サンプル製品、ポスター、パネル展示
- E1-41 **ファナック**
産業用知能ロボット、パワーモーション
- E3-33 **ファブエース**
ハイブリッドカシメプレス FCP-50i
- E2-29 **ファロージャパン**
アーム型3次元測定器、レーザートラッカー、レーザーセンサー
- E3-18 **フジイ**
ばね試験機
- E3-12 **富士機工**
ボール盤NC1軸、バリ取り機、アイデア金型他
- E3-70 **富士商工マシナリー**
パネル展示
- E2-36 **扶桑精機**
ルミナ自動スプレーガン STシリーズ、HMシリーズ、ステンレス圧送タンク 他
- E1-56 **フックスジャパン**
熱間および温間鍛造用潤滑剤
- E3-72 **フナボリ**
スパッタ防止剤、大型扇風機、大型換気扇
- E3-09 **フリースペースエンジニアリング**
自動倉庫システム

- E1-55 **フリーペーパーコーポレーション**
エア-浮上式フリーペーパーユニット、金型交換台車
- E1-53 **ブルーダラー・プレス**
テストと生産を一台で可能にした新ドライブBPG搭載プレス機
- E3-59 **プロテクニカ・ジャパン**
※HCS
無動力式パキユムリフト 他
- E1-27 **放電精密加工研究所**
デジタルサーボプレス ZENFormer、ZENFormer nano
- E1-14 **ホームトレードディングカンパニー**
※Schuler Pressen
新型サーボフォーマー、冷間・温間鍛造サーボプレス、ビデオ・カタログ
- E3-47 **北越工業**
コンプレッサー、富化窒素発生装置
- E2-64 **マーボス**
Brankamp プロセスモニタリングシステム、非破壊検査装置
- E2-44 **マコー**
ウェットプラスト
- E3-45 **マツト産業**
※マツト機械
シームステッパによるファイバーレーザーローボットシステムの実演、5軸NCレーザー装置の実演、ハンド式ファイバーレーザーの実演
- E2-74 **丸鋸機械**
CNCワイヤーフォーミングマシン、NCテーブルベンダー
- E1-02 **万陽**
STEEL CHOPPER(精密棒鋼切断機)LBS型、DLB型 LEVER PRESS (レバプレス機)LP型、DLP型 FORGING ROLL (フォーミングロール)FR型 面取り機、両端面研削機、アプセッター、各種搬送装置等
- E3-11 **三菱電機**
レーザ加工機 他
- E1-07 **三菱長崎機工**
鍛造プレス
- E3-64 **三菱UFJリース**
事業紹介パネル
- E3-11 **村田機械**
新型複合機、タレットパンチプレス&ソーティングシステム、プレスブレーキ、ソフトウェア
- E1-47 **メガテック**
リチウムイオンバッテリー用トリミングマシン
- E2-15 **森鉄工**
ワンショットフォーミングプレスとファインプランキングプレスの成形サンプル展示、各プレスの成形中ビデオ・パネル展示・カタログ配布
- E2-18 **安川シーメンスオートメーション・ドライブ**
※シーメンスPLMソフトウェア
シーメンス金属加工ソリューション SIMOPRESS、プレスラインシミュレーションソフトウェア、エネルギーマネージメントシステム、セーフティ
- E2-52 **ヤマザキマザック**
レーザ加工機
- E3-58 **ヤマダコーポレーション**
溶接ヒューム回収用集じん装置、局所排気システム
- E1-39 **山田ドビー**
次世代下死点制御インテリジェントプレス I-MXB0
- E1-29 **ヤマナカコーキン**
鍛造・板鍛造の工法開発部品、塑性加工・総合シミュレーションソフト DEFORM
高精度鍛造システム、Sensonic Fastener 製品
- E2-34 **山本水庄工業所**
各種設備パネル展示・成形サンプル展示
- E3-65 **ユーエスウラサキ**
集塵機
- E3-32 **ユーロテック**
HAEGER インサーションマシン
- E3-67 **湯川王冠**
銅加工品、スピニング加工品、プレス加工品
- E2-66 **ユタカ**
ねじ検査装置
- E3-63 **ユタカドパン**
ベンディングマシン
- E2-59 **ユタニ**
レベラーフィーダー、レベラー その他
- E3-07 **ユニオン精密**
冷間鍛造機、冷間転造機
- E3-26 **吉野機械製作所**
サーボプレスブレーキ YSP200-30、ノッチングプレス
※ティワイアソシエイツ
- E2-13 **理研オプテック**
プレス安全装置、ミス検出装置、荷重監視装置
- E1-62 **理研計器奈良製作所**
プレス動的精度測定器、カス上り検出器、ミス検出器、オイルミスト、高性能プレス下死点絶対値監視装置
- E1-13 **ルブテック**
プレススタット静電塗油装置、アルスタット静電防錆油塗油装置
- E2-10 **ロス・アジア**
ダブルバルブ、安全関連空気圧機器
- E2-67 **CARLO SALVI**
超高速冷間・温間ヘッダー、高速パーツフォーマー、ビデオ・カタログ
※SALA PUNZONI
圧造用(各種パンチ)工具、金型サンプル・カタログ
- E1-46 **CHIN FONG MACHINE INDUSTRIAL**
サーボプレス機

- E1-69 **FACCIN**
フォーミングマシン
- E3-29 **FLADDER DANMARK**
- E2-19 **HYODONG MACHINE**
- E1-08 **Korea Forging Cooperative**
※CHEMITECH
※DAEWON FORGING
※DONGSAN IND.
※FORMETAL
※HANHO INDUSTRIAL
※HOSUNG MACHINERY IND.
※Jin Kwang
※KOWON METAL
※MFRC corporation
※SAMKWANG MOTORS
※SEIL FORGING
※WONCHANG METALS
- E1-23 **NUMALLIANCE**
フォーミングマシン
- E1-09 **PT, INTERMESINDO FORGING PRIMA**
熱間鍛造品サンプル
- E3-15 **REGG INSPECTION**
※オフィス海外テック
高精度画像検査システム、ビジョンシステム(初品測定機)、新高速・高精度2ロール転造盤 R-40 HD PDQ
- E1-66 **SHIEH YIEH MACHINERY INDUSTRY**
SDI-80、ORII RHN1202
- E2-57 **SOCO MACHINERY**
※パンテックス
CNCパイプベンダー、フォーミングマシン、パイプカットマシン
- E2-31 **Sung Wou ENG**
- E3-73 **SuZhou Guanghe metal product**
Taiwan Association of Machinery Industry
- E2-27 **※CHIAN CHANG MACHINE**
- E2-25 **※DEES HYDRAULIC INDUSTRIAL**
- E2-24 **※JING DUANN MACHINERY INDUSTRIAL**
- E2-23 **※LIEN CHIEH MACHINERY**
- E2-22 **※SANES PRESSES**
- E2-26 **※SIMCO SPRING MACHINERY COMPANY**
- E2-28 **※YONKEN TECHNOLOGY**

学会・協会・工業会

- E3-37 **日本塑性加工学会**
1 宇都宮大学 材料加工研究室
2 神奈川大学 材料加工研究室
3 慶應義塾大学 大家研究室
4 国士舘大学 西原・大橋研究室
5 国立東京工業高等専門学校 木村・林研究室
6 埼玉大学 内海研究室
7 静岡大学 田中・早川・吉田研究室
8 芝浦工業大学 生産加工プロセス研究室
9 首都大学東京 先端材料加工工学研究室・微細加工研究所
10 首都大学東京大学院 塑性工学研究室
11 成蹊大学 材料力学研究室
12 玉川大学 材料加工工学研究室
13 千葉大学 材料加工工学研究室
14 東海大学 吉田研究室
15 東京工業大学 吉野研究室
16 東京電機大学 柳田研究室
17 東京都立産業技術高等専門学校 長谷川研究室
18 東京農工大学 桑原研究室
19 長野工業高等専門学校 宮崎研究室
20 日本工業大学 精密加工研究室
21 日本大学 星野研究室
22 早稲田大学 鈴木研究室
23 芝浦工業大学 機能再生研究室
24 豊橋技術科学大学 極限成形システム研究室
- E1-01 **日本鍛造協会**
アイシン・メタルテック/アサヒフオージ/アルミニウム鍛造技術会/イチタン/ウチノ/大智鍛造所/大宮日進/角田鉄工所/近畿鍛造品事業協同組合/ケルブ・ジャパン/ゴージュ/コタニ/サンアロイ工業/三造/パワーエレクトロニクス/シンニクタン/新東工業/SCREENホールディングス/セイタン/タイチク/タンレイ工業/知多工業/ティエフオー/TDF/東亜鍛工所/東京鍛造工業協同組合/岡和鍛造/因南鍛工/中日本鍛造協同組合/浪速鉄工/福光精機/PRESSTRAD/豊和鍛工/北陸工業/丸富五十道製作所/丸茂工業/万能工業/ミヤジマ/メタルアート/MORESCO/八木工業/山崎機械製作所/ワイエイシイデンコー
- E3-36 **日本工作機械工業会**
- E3-39 **日本ねじ工業会 / 日本ばね学会**
- E2-63 **日本ねじ工業協会**
- E3-38 **日本ロボット工業会**

海外協賛団体

- E3-55 **中国机床工具工業協会**
- E3-57 **中国鍛圧協会**
- E3-56 **中国模具工業協会**
- E3-54 **インド工作機械工業会**
- E3-52 **アメリカ製造技術協会**
- E3-53 **台湾区機器工業同業公会**

〒959-0113 新潟県燕市笈ヶ島1365-1

TEL：0256-97-4846

代表者：代表取締役 齋藤 孝二

会員代表者：常務取締役 齋藤 隆範

代表的な取扱品目：バリ取り装置、集塵装置・局所排気装置、溶接作業用3D定盤

高度なモノ作りが集積する新潟県燕三条地域に起業して40余年。当社は①バリ取り装置、②集塵装置・局所排気装置、③溶接作業用3D定盤を三本柱に設計、製造、販売しております。

①バリ取り機

钣金業界には必須なバリ取り機を多数取り揃えており、バリ取り作業のコスト削減、品質向上、清潔化を目指して日々研究開発しております。自動バリ取り機「メタルエステ」はローター軸を旋回軸に対して偏心させる特許取得技術により、コンベアのどの部分においても均一なバリ取りを実現することができます。ワークサイズに応じた各種シリーズを取り揃えており、オプションで仕上げ加工機も販売しております。また、手動でのコンパクトバリ取り機「メタルハンズ」、「メタルタッチ」により難形状のワークにおいても短時間でのバリ取りが可能です。

②集塵装置・局所排気装置

工場内の粉じん、ヒュームや油煙等による環境問題を解消し、工場にも人にも優しい作業環境を作ります。

40年以上の実績によるノウハウを活かしてお客様のご要望に沿った集塵装置、局所排気装置を設計、製作致します。集塵機の一番のネックはフィルターの目詰まりです。出来るだけ寿命を長くするためには、集塵条件の他にフィルターの材質、ろ過速度等が大きく影響します。コスト、スペース等を考慮しつつお客様に最適な集塵機のご提案を致します。

また、グラインダ作業に適し工場内環境をクリーンに保つテーブル集塵機も得意としています。

③溶接作業用3D定盤

ものづくりに欠かせないのが溶接作業ですが、熟練された職人の技術が要求され仕上がりにバラつきが生じてしまいます。当社が販売するSiegmond製3D定盤を使用することにより、段取り時間の大幅短縮と歪みを抑えた寸法精度の高い溶接が可能となります。

今後もお客様にご満足頂ける製品を作り、日本のモノ作りを会員の皆様と共に支えていきたいと思っておりますのでよろしくご願ひ致します。



バリ取り機 メタルエステ



溶射用集塵機

〒939-1112 富山県高岡市戸出春日795番地

TEL：0766-63-3805

代表者：代表取締役社長 吉田 保雄

会員代表者：代表取締役社長 吉田 保雄

代表的な取扱品目：曲げ加工機、ドリルタップ加工機

協和マシン(株)は1972年に創業し、アルミ産業に呼応して「ユーザーのために機械をつくる」ことを基本理念として掲げ、制御を含めた各種自動加工機、周辺装置の開発、設計、製造、販売までを一貫して自社で行っており、成長してまいりました。1997年、お客様の多様なご要望により、従来からの得意分野だった「金属L曲げ加工機」をより省コストで操作しやすくした自社ブランドの金属L曲げ加工機「KMPシリーズ」を開発し、販売開始しました。

曲げ加工機「KMPシリーズ」は、金属等の板金素材を高度で複雑な形状を簡単プログラムで曲げられるL曲げベンダーです。特許取得済みのコア技術である「板材曲げ加工機クランプ装置」を用いて上金型側を押圧することにより、従来の通常2人以上で作業するプレス曲げ加工機の「跳ね上がり」をなくし、装置の小型化と共に大きな押圧力を実現することができました。

最新型の自動L曲げ加工機はマニピュレータと呼ばれる位置決め装置で素材をクランプし、自動でヘミング・クローキング加工やR曲げ・部分曲げ等を行えます。自動金型交換機能もあり、多品種少ロットでも対応できます。また、搬送ローダー、一枚取り装置等を組み合

わせ、曲げ加工は全自動化となり、その結果、作業員がいなくても稼働が可能、プレス曲げ加工機の2倍以上の加工速度、油圧を使わずに全軸ACサーボモーター駆動で「稼働コストの削減」「タイムロス」「静音性」「エコロジー」といったメリットが得られます。さらに、加工品質がより安定し、かつ高速加工により生産性を向上できます。

弊社は、高生産性「L曲げベンダー」を製造して30年以上の実績があります。このL曲げベンダーは、まだ新しい技術ですが、好評を得ており大手メーカーからの受注も獲得しております。さらに弊社の強みとして、お客様からの様々な製品加工形状への柔軟な対応が挙げられます。このようにL曲げベンダー専門メーカーとしての業界の地位を確立しております。

現在、あらゆる産業分野においてポータレス・グローバル化が進んでおり、近年では海外への輸出も増えています。日本国内だけではなく、技術、品質、アフターサービス面より海外のお客様からも高い信頼を得ております。今後も様々なお客様からのどのようなご要望にも、弊社は実現するための最大限の努力と提案をさせていただきます。



「KMPシリーズ」自動L曲げ加工機



周辺装置を組み合わせたKMPライン

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地5-1

TEL：0774-43-7461

代表者：代表取締役会長 谷口 正弘

会員代表者：代表取締役社長 榎本 稔

代表的な取扱品目：熱間フォーマーの設計・製造

阪村ホットアートは、熱間フォーマーの設計・製作については50年近い実績があります。

1968年に3段式のHNPシリーズ(主にナット成形用)を開発、その後4段式のHBPシリーズ・HPFシリーズ(主にベアリング成形用)を開発しました。

これらの熱間フォーマーの特長は、#1工程と後工程が独立したツインラム方式であり、これはサカムラだけの独創的なシステムです。「#1でオープンアップセットしてスケールを落とすことができる」、「突き上げプッシャーで#1チャックに押し込むことで、材料の端末処理時のブランク噛み込みを防ぐことができる」、「成形工程が独立しているので端末処理時に偏芯荷重を発生させず安定した製品が生産できる」「独立した#1パンチを稼働中に前後に動かしアップセットの厚み調整をすることができる」などのメリットがあります。

このツインラム式熱間フォーマーは、ベアリング成形には最適とされてきましたが、ユーザーニーズも時代とともに変化し、ベアリング以外の製品一径の大きい薄物を圧造したいといったご要望が出てきました。

そこで、より高精度な製品を成形するために、シングルラムを採用し、#1をオープンアップセットではなく、インダイで成形するHFシリーズが誕生しました。

HFシリーズでは、切断ブランクは移動ナイフで#0工

程に搬送され、「ゼロサポートシステム」によってパンチ側から保持、それを#1チャックで掴んで#1工程に搬送する方式になっています。これは、#0工程に切断ブランクを一度預けて、芯調整したチャックで#1まで搬送することで、#1成形時のブランクの位置決め精度を上げる効果があります。

また、#0工程は切断ブランクの保持だけでなく、据え込みによるスケール除去機能もあります。

HFシリーズには、ツインラムを採用したHFWシリーズも開発されています。

HFWシリーズでは、従来のツインラムの#1ラムと#2、3、4ラムの前死点が110°異なる機構とは違って、それぞれのラムの前死点を約10°だけずらして、前死点での荷重の分散を図り、端末処理時の偏芯荷重を解消しました。

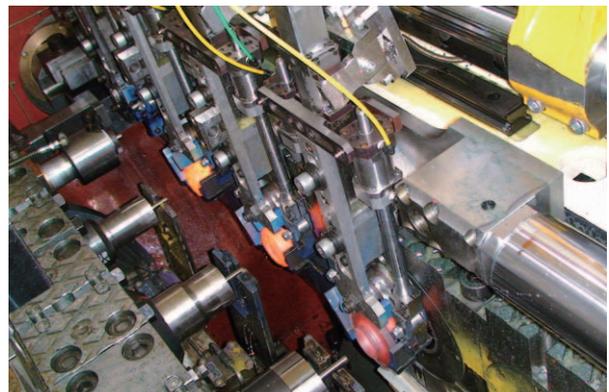
その他、サカムラではパンチブロック・ダイブロックの油圧ロックシステムを開発し、ロボットでのブロック自動交換を可能にしています。

また、SPコンベアーシステムは、チャックからのブランク落下高さを従来の製品シュートの1/3以下に抑え、打痕傷を防止しています。

ホットアートでは、圧造能力300kNから21000kNまで30種以上のラインアップで「こんな製品を成形したい」というお客様のニーズにお応えしております。



HFW1000-4型 熱間フォーマー



フォーマー内部 HUB部品圧造

〒577-0827 東大阪市衣摺6-3-3

TEL：06-6728-7881

代表者：代表取締役社長 天野 雅人

会員代表者：代表取締役社長 天野 雅人

代表的な取扱品目：フリーベア、フリーベアユニット

フリーベア®は【ボールトランスファーの代名詞】として、様々なモノづくりの現場で幅広くご使用いただいています。当社は1971年に(株)共栄精工として創業。自社ブランドである“フリーベア”(登録商標)を中心に、省力化機器の製造販売を行ってまいりました。2000年には社名を(株)フリーベアコーポレーションに変更。創業以来一貫してフリーベアを製造しています。

ボールの特性を生かし、小さな力で搬送物を全方向(360°)に動かす事ができ、始動摩擦抵抗値(搬送物が動き出す際の推力)3/100以下を保証。(条件により1/100~2/100)

1トンの搬送物を30kgf以下の力で自在に動かす事が可能です。中でもエア浮上式フリーベアユニット(AFU)はプレス機・成型機の金型交換をはじめ、板金機械や各種専用機等で使用されるワーク(搬送物)の位置決め・搬送に最適な製品で、3つの大きな特徴があります。

①空圧式ダイリフター。

工場内(又は機械)のエアを使用し、バルブの切替(ON/OFF)操作でユニットに内装されたフリーベアがエアの力だけでリフトアップする構造です。

②取付が簡単。

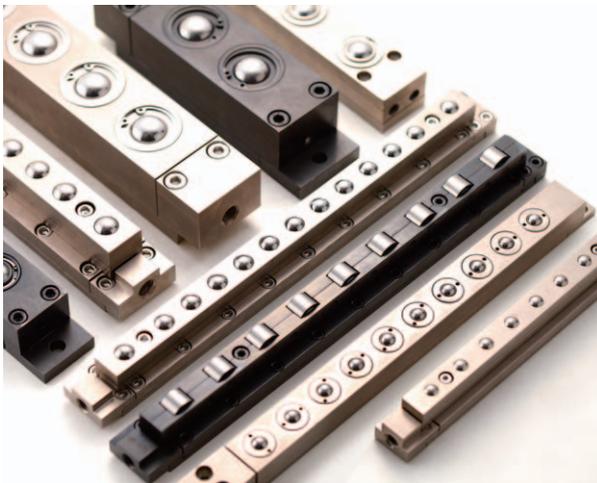
油圧式に比べ導入時の専門知識や油圧ユニット等も不要で大がかりな工事也不需要ありません。ウレタンチューブとバルブがあれば直ぐに使用ができるコンパクトで環境にやさしい製品です。特にT溝挿入タイプは、既設のT溝に挿入し、主に抜き差しで使用する為、T溝の深さが同じであれば、他の機械と兼用で使用する事もできます。

③全方向に動かす事が可能。

一方向にしか動かないローラーと違いボールで搬送物を全方向に動かす事ができるので、簡単に金型交換が出来ます。

AFUは発売以来8万本以上の納入実績があり幅広いユーザー様から高い支持を得ています。

社内一貫生産でお客様のニーズに沿った特型品の製作にも積極的に対応しています。フリーベアを作業台や台車へ設置する事で、クレーンやフォークリフト等を使用せず、ワークを安全に横移動させる事ができるので、生産現場での省力・省人化等の改善活動にも役立ちます。モノづくりの現場を陰で支え続ける部品メーカーとして、これからも社業に精進して参りますので、今後ともフリーベアを宜しくお願い致します。



各種エア浮上式フリーベアユニット(AFU)

各種フリーベア
(標準品)各種フリーベア
(クリーンルーム仕様)

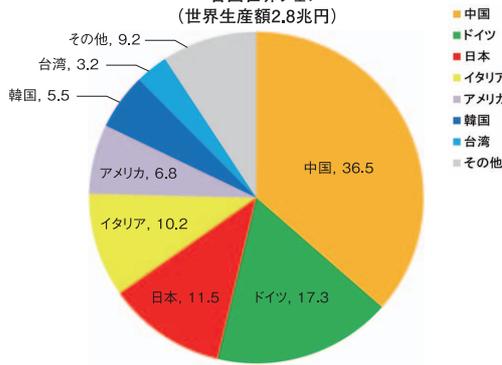
2014年 鍛圧機械の世界生産金額と各国シェア

～日本鍛圧機械工業会が各種データをもとに推計～

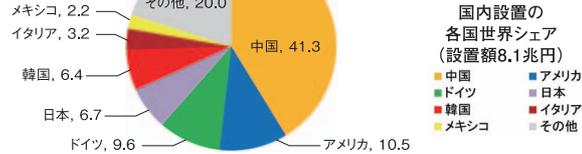
一般社団法人 日本鍛圧機械工業会は、米国ガードナ社、日本鍛圧機械工業会、欧州CECIMO、米国AMTなどが発表した各種統計に加えて日本機械統計、貿易統計をもとにして推計し、鍛圧機械の世界の需要動向を統計グラフにして発表した。作成日は、2015年5月19日。日本の鍛圧機械の需要推移と世界における位置づけが明確となっている。

総合版 2014年鍛圧機械の各国世界シェアと金属加工機械(鍛圧+工作)の国内設置シェアと輸出市場での各国世界シェア

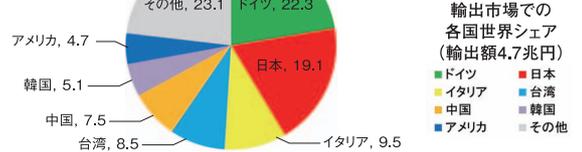
図a.2014年鍛圧機械の生産金額 各国世界シェア (世界生産額2.8兆円)



図b.2014年金属加工機械(鍛圧+工作) 国内設置の各国世界シェア (設置額8.1兆円)

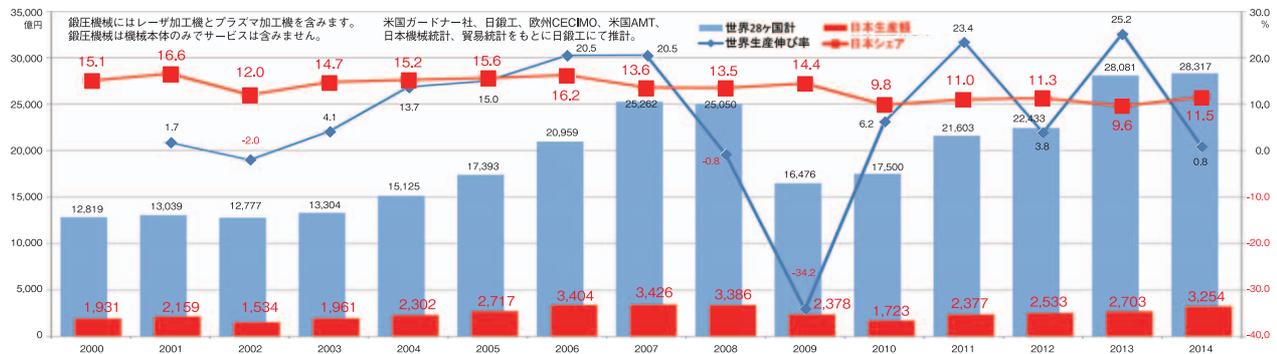


図c.2014年金属加工機械(鍛圧+工作) 輸出市場での各国世界シェア (輸出額4.7兆円)



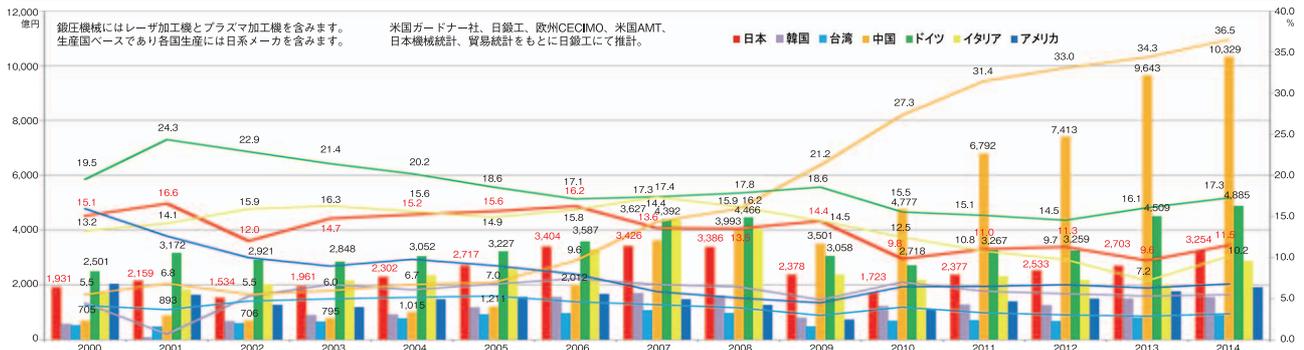
鍛圧機械の世界生産額は2.83兆円となり、2013年の2.81兆円を上回り、過去最高を更新した。中国は6年連続トップを維持している。日本はドイツ、イタリアに続き4位である。金属加工機械(鍛圧+工作)で国内に設置(設置=生産+輸出+輸入:設備投資)された機械は中国が5年連続世界の40%を超えるが、米、独、に続き、日本は4位、韓国、イタリアが続いた。金属加工機械(鍛圧+工作)で輸出された機械は4.65兆円で、2000年来最高を記録した。ドイツに次ぎ、日本は19.1%で2位、イタリア、台湾が続いた。

図1 鍛圧機械の世界生産額と日本シェア



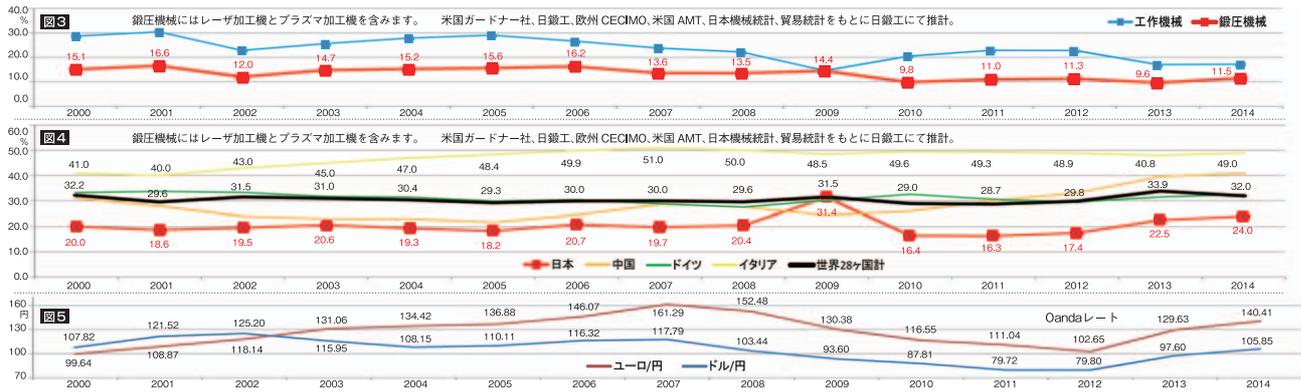
鍛圧機械の世界生産額は2.83兆円となり、2013年の2.81兆円を上回り、過去最高を更新した。日本は11.5%と前年比0.9%シェアを伸ばした。主因は海外各国の円換算の生産額が相対的に増加している中(\$/¥は2012年より約3割増加)で、円ベースでの生産額も他国を上回るペースで伸びている。すべての通貨は変動しており、ドル建てにしてもユーロ建てにしても現地通貨に変換するレートに左右される実態の解決は困難である。

図2 鍛圧機械の国別生産額と世界生産シェア(主要国)



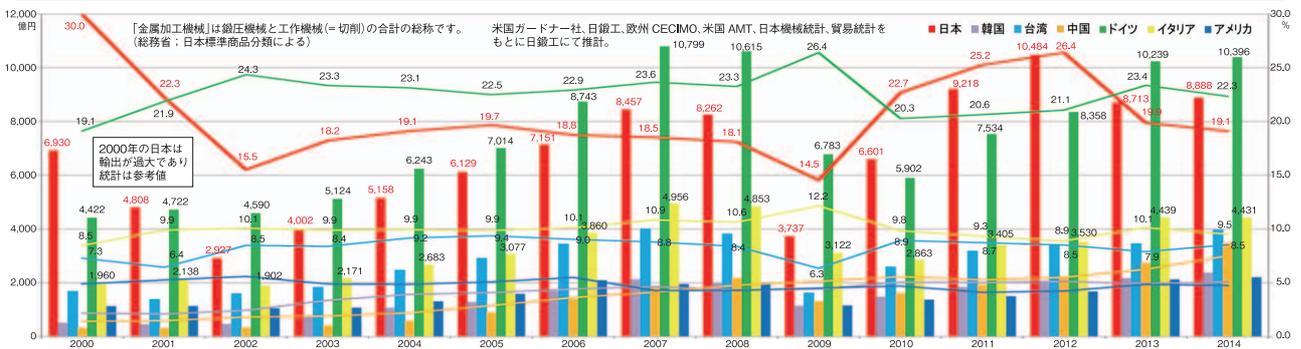
中国の2006年以降の生産急拡大は世界の構造を激変させた。2013年は36.5%に達し6年連続世界1位となっている。2位はドイツが6年連続で維持している。日本の鍛圧機械の世界シェアはドイツに次ぐ2位から、2007年イタリア・中国に抜かれ4位となり、2012年にイタリアを抜き返して第3位を維持している。韓国・台湾勢は急速な伸張とは成っていないが、特に台湾は多くが中国生産にふくまれている可能性がある。

図3 日本の鍛圧機械と工作機械の世界生産シェア推移 / 図4 金属加工機械(鍛圧+工作)生産における国別鍛圧機械の比率
 図5 為替レート ドル/円 ユーロ/円



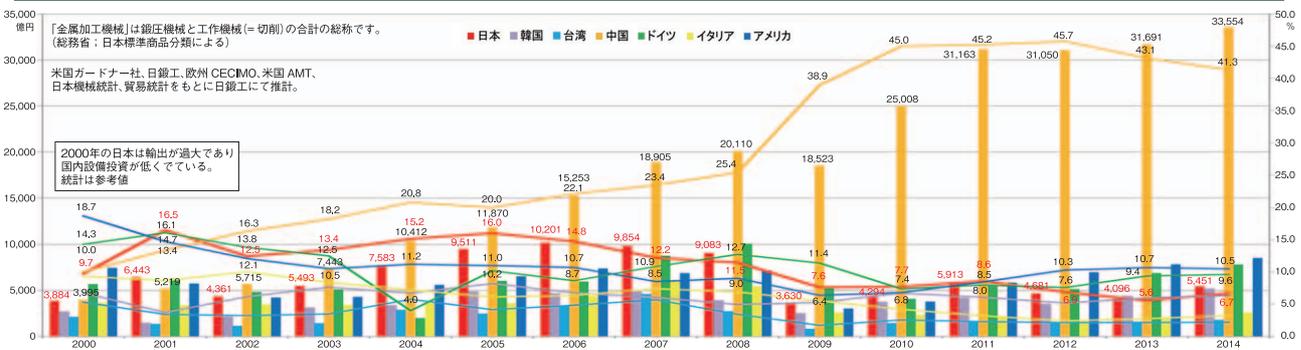
日本の鍛圧機械の世界シェアは工作機械より約10%低い。金属加工機械のなかで鍛圧3:工作7が世界平均だが日本は鍛圧2:工作8である。円高が是正され、更に円安傾向になって輸出増になってない。海外市場でも地産地消が進み、日本から輸出が増える構造では無いように思われる。

図8 金属加工機械(鍛圧+工作)の国別輸出額と世界輸出市場シェア(主要国)



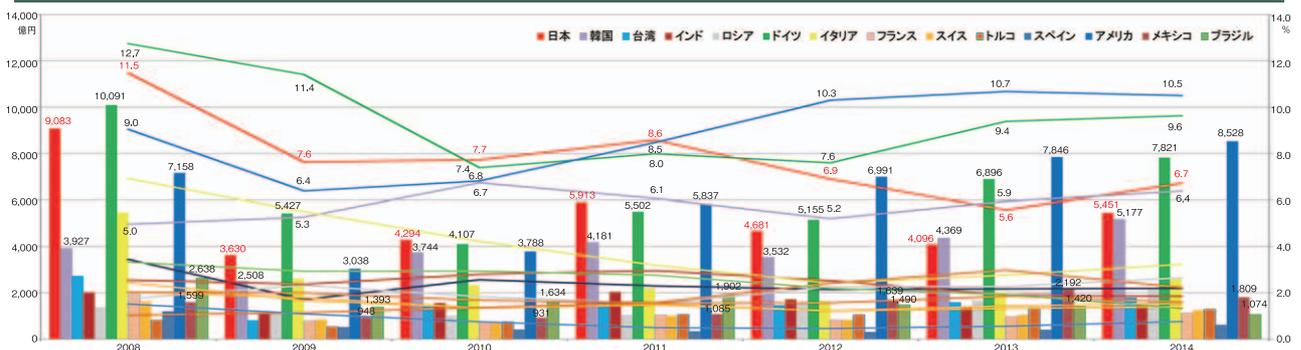
金属加工機械の輸出市場は2007-2008年に共に4.5兆円と2000年の倍近くに達し、その後下落したが2013年は4.3兆円、2014年は4.6兆円で最高を更新した。ドイツが輸出シェア22.3%、続いて日本は19.1%、併せて41.4%を占めるが、両国共に前年比シェアを落としている。中国の輸出額は2008年にアメリカ、韓国を抜き5位となった。台湾と併せると15%となり、実質世界3位、4位の輸出国となっている。

図11 金属加工機械(鍛圧+工作)の国内設置額(設置=生産-輸出+輸入)と世界設置シェア(主要国)



金属加工機械の国内設置額(=生産-輸出+輸入)は中国に集中している。実に世界の4割強、3兆円の機械が中国に4年連続して設置されている。2010年に日本は2位を挽回したが、2012年に米、独に抜かれ、2013年韓国に抜かれ5位となったが、2014年は4位に返り咲いた。

図12 金属加工機械(鍛圧+工作)の国内設置額(設置=生産-輸出+輸入)と世界設置シェア(除中国)



国内設置金額は圧倒的な中国に続き、アメリカ、ドイツ、日本、韓国が続く。その次はイタリア、さらに、ロシア、メキシコ、インドとなっている。

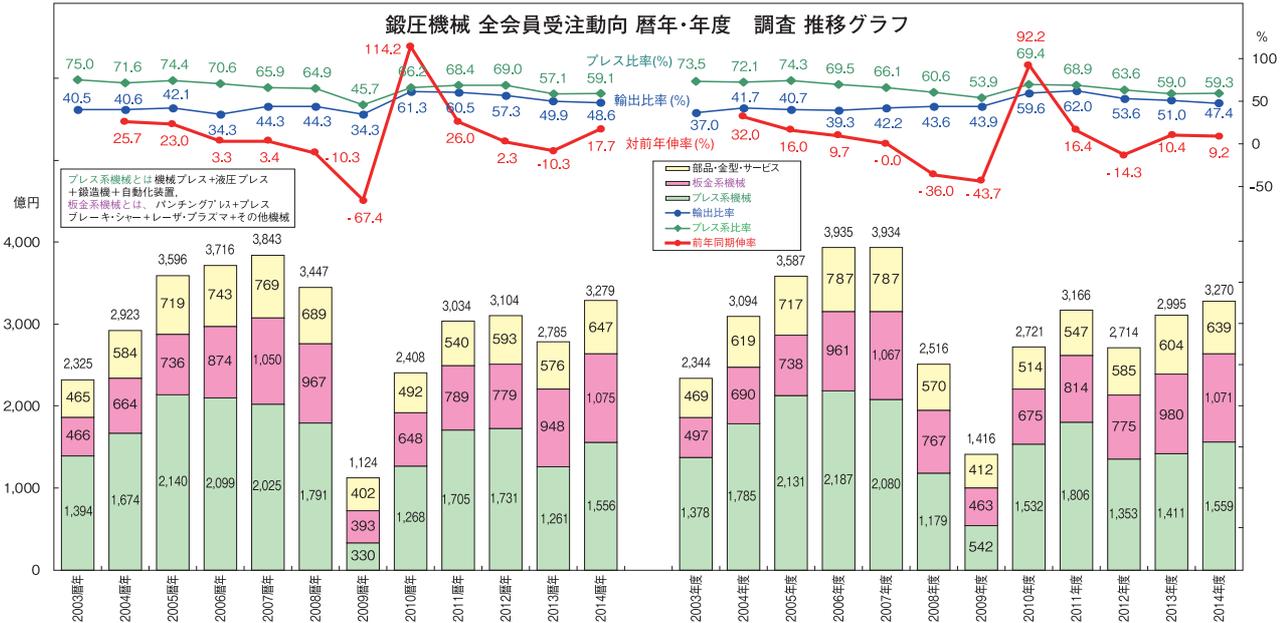
▶ 鍛圧機械 全会員受注グラフ (2014年度業況調査)

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2015年4月8日

2014年度 鍛圧機械 全会員受注動向業況調査コメント

- 概況 受注金額は3,270億円で前年度比9.2%増。国内は補助金や投資優遇税制が設備の更新需要を喚起。輸出は欧州向に回復の兆しがあるが、北米依存度が高い。
- 機種別 プレス系は1,559億円で前年度比10.5%増。機械プレスは全体で12.6%増、油圧プレスは55.3%増だがフォミングは16.0%減、自動化・安全装置も9.1%減となった。(機種合計) 板金系は1,071億円で前年度比9.3%増。プレスレーキは34.8%増、パンチング1.4%増、レーザープレスも0.5%増となった。
- 国内業種別 国内は1,384億円で前年度比18.2%増。自動車は15.7%増、金属製品製造業が6.7%増、一般機械は27.2%増、電機は42.9%増、鉄鋼・非鉄金属も35.8%増となった。(機種合計) 国内は全業種において前年度比プラスとなり、自動車、金属製品製造業と一般機械を中心に好調を維持し、電機にも回復の兆しが見える。
- 輸出地域別 輸出は1,246億円で前年度比2.1%増。北米が27.4%増、欧州は89.0%増、韓国・台湾は19.1%増、インドも67.7%増だが東南アジアは42.6%減、中国も13.0%減となった。(機種合計) 輸出受注のトップ地域は北米、続いて中国、欧州、東南アジアの順となった。2015年度は新興国インドの成長に期待したい。



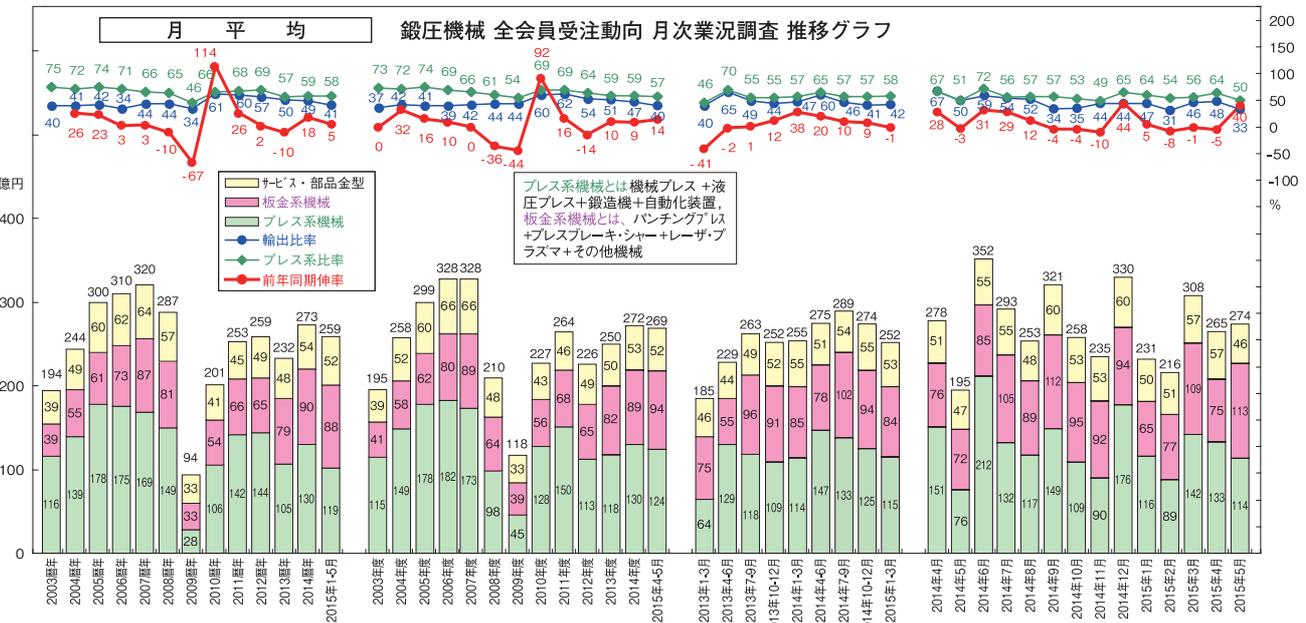
▶ 鍛圧機械 全会員受注グラフ (月次業況調査)

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2015年6月8日

2015年5月度 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査コメント

- 概況 受注総合計は273.6億円、前年同月比40.2%増で4ヶ月振りプラスに転じた。国内が73.2%増だが輸出は1.2%減となった。2015年1-5月累計は前年比4.6%増、4-5月の累計も13.9%増となった。国内は省エネ補助金等の効果で堅調な受注を維持している。
- 機種別 プレス系機械は114.4億円、前年比50.1%増。超大型が16倍増、中型も61.5%増だが、大型22.6%減、小型も10.3%減。油圧プレスは56.0%増だが、フォミングは64.7%減。板金系機械は113.1億円、前年比56.4%増。パンチングが倍増、レーザープレスは34.2%増、プレスレーキも28.0%増となった。
- 内外別 国内は152.6億円、前年比倍増。金属製品製造業が2.4倍増、自動車も2.4倍増、一般機械が53.6%増、電機は3.5倍増、鉄鋼・非鉄金属も75.3%増で全業種でプラス。(機種計) 輸出は74.8億円、前年比1.1%増。北米は41.9%増、東南アジアが5.4%増、インド26.7%増だが、中国が26.7%減、欧州42.6%減、韓国・台湾も15.6%減となった。



新聞報道 から見た 会員動向

日刊工業新聞、日経産業新聞、日本経済新聞、全国紙、一般紙などに掲載された会員の記事を抄録して順不同で掲載します。

今回は、2015年3月7日から6月10日に掲載されたものが対象ですが、決算、人事などの情報は除外しています。

日本鍛圧機械工業会+共通

■日本鍛圧機械工業会

- 昨年度の鍛圧機械受注、9%増の3269億円—リーマン後の最高額更新
2015/04/10 日刊工業新聞 6ページ 680文字 PDF有
- 3月、鍛圧機械受注は2カ月連続で減少
2015/04/24 日刊自動車新聞 3ページ 369文字
- 日鍛工、会長に川西宣明氏(コマツ産機社長)
2015/05/13 日刊工業新聞 1ページ 482文字 PDF有
- 日鍛工、会員数が100社突破—1年で3割増
2015/05/13 日刊工業新聞 3ページ 175文字 PDF有
- 4月の鍛圧機械受注、4.6%減の264億円—輸出が大幅減
2015/05/15 日刊工業新聞 9ページ 375文字 PDF有
- 鍛圧機械4社の今期見通し、高水準を維持
2015/05/18 日刊工業新聞 7ページ 602文字 PDF有
- 日鍛工、MF-Tokyoのネット来場登録を開始 ほか
2015/05/29 日刊自動車新聞 3ページ 640文字
- 5月の鍛圧機械受注、40%増の273億円—日鍛工まとめ
2015/06/09 日刊工業新聞Newsウェブ21 7ページ 453文字
- インタビュー/日本鍛圧機械工業会会長・川西宣明氏「日本の技術、世界に発信」
2015/06/10 日刊工業新聞Newsウェブ21 6ページ 1353文字

プレス機械系

■コマツ産機

- コマツ産機/ファイバーレーザー加工機の見学会開催
2015/03/20 鉄鋼新聞 3ページ 391文字
- 第35回優秀省エネルギー機器/日本機械工業連合会会長賞—コマツ産機
2015/03/30 日刊工業新聞 9ページ 1097文字 PDF有
- 北陸経済特集—みがく競争力、新素材・ライフサイエンス、産学官連携で開発加速。
... コマツ産機、大和ハウス工業などと連携する ...
2015/04/11 日本経済新聞 朝刊 33ページ 1259文字 PDF有
- 板金機能を石川県に集約 コマツが今年度方針 産機で一貫体制を構築
2015/04/24 北國新聞 朝刊 1ページ 628文字 PDF有
- コマツ産機、プレス機を海外で拡販
2015/05/28 日刊工業新聞 6ページ 713文字 PDF有

■アイダエンジニアリング

- アイダエンジニア、100億円投じ売上高1000億円目指す—プレス機販売を軸に
2015/06/01 日刊工業新聞 7ページ 630文字 PDF有

■エイチアンドエフ

- 日立造、全社横断的会議「工場長会」開催—国内工場の連携加速、情報共有で操業効率化
2015/06/05 日刊工業新聞 3ページ 621文字 PDF有

■住友重機械工業

- 金型最先端(3) ヤマナカコーキンなど3社—複雑な形状部品、1工程で、ニッチ市場、技術力で開拓。
2015/04/01 日経産業新聞 13ページ 絵写表有 1243文字 PDF有

板金機械系

■アマダ

- アマダスクール/板金技能フェアで表彰/国内外から224点応募
2015/03/12 日刊産業新聞 4ページ 715文字
- アマダグループ/光・レーザー技術展/新商品など6機種出展
2015/03/31 鉄鋼新聞 5ページ 457文字
- アマダ、新体制スタート/持ち株会社制に移行
2015/04/01 鉄鋼新聞 2ページ 447文字

- アマダホールディングス岡本満夫氏—持ち株会社制スタート、持続的成長へ向け大改革(ニュースの主役)
2015/04/02 日経産業新聞 20ページ 絵写表有 410文字 PDF有
- アマダ/世界初のDDL切断機/来年1月にも発売
2015/04/13 日刊産業新聞 2ページ 558文字
- アマダHD、工場を「見える化」管理用ソフト提案
2015/05/02 日刊自動車新聞 3ページ 539文字
- アマダホールディングス、レーザー加工機で資本提携。
2015/05/13 日本経済新聞 朝刊 13ページ 100文字 PDF有
- アマダ、曲げ機械の新システム(フラッシュ)
2015/05/19 日経産業新聞 11ページ 265文字 PDF有
- アマダHD機部社長/「中長期目標を早期達成」/海外、レーザなどで成長
2015/06/10 鉄鋼新聞 6ページ 1333文字

■トルンプ

- 独産業連幹部と経団連会長、工業デジタル化で意見交換
2015/03/10 日刊工業新聞 2ページ 307文字 PDF有
- 独トルンプ、出力8kWのファイバー伝送方式レーザー加工機を投入—I4.0も意識
2015/05/12 日刊工業新聞 6ページ 641文字 PDF有

■ヤマザキマザック オプトニクス

- ヤマザキマザック、段取り作業など自動化—CO2レーザー加工機、年75台販売目指す
2015/06/09 日刊工業新聞Newsウェブ21 7ページ 474文字

■ファナック

- ファナックと古河電工、共同出資会社設立しファイバーレーザー市場に参入
2015/04/14 日刊工業新聞 1ページ 1050文字 PDF有
- ファナック、7月投入のファイバーレーザー発振器を公開—6型式をラインアップ
2015/04/15 日刊工業新聞 6ページ 796文字 PDF有
- レーザー加工機、消費電力3分の1に、ファナックが発振器。
2015/04/27 日本経済新聞 朝刊 11ページ 215文字 PDF有

■向洋技研

- 向洋技研—高速溶接技術搭載型テーブルスポット溶接機
2015/03/20 日刊工業新聞 7ページ 395文字 PDF有

■吉野機械製作所

- 【企業訪問】吉野機械製作所(千葉市)
2015/05/22 産経新聞 東京朝刊 26ページ 絵写表有 1536文字

■小池酸素工業

- 小池酸素工業/定尺用ファイバーレーザー/「高速仕様」を追加/最大送り速度、分速100メートル実現
2015/04/06 鉄鋼新聞 2ページ 599文字
- 小池酸素工業が製品展示会開催/Fレーザなどに高い関心
2015/05/01 鉄鋼新聞 2ページ 540文字

■澁谷工業

- 澁谷工業、ファイバーレーザー加工機に1.8kW型を追加
2015/05/29 日刊工業新聞 7ページ 414文字 PDF有

フォーミング機械系・その他

■阪村機械製作所

- フォーメーカー 阪村機械製作所の事業戦略/上/大型設備製造に注力/効率・高速化ニーズ対応
2015/03/13 日刊産業新聞 7ページ 1303文字
- フォーメーカー 阪村機械製作所の事業戦略/下/最終工程まで品質確保/技術とサービスを追求
2015/03/20 日刊産業新聞 4ページ 1310文字

■中島田鉄工所

- 宇宙ごみ増やすな 広川町・中島田鉄工所 人工衛星降下装置 実証へ
2015/05/09 西日本新聞夕刊 1ページ 1682文字 PDF有
- 宇宙ごみ化 膜で防ぐ 使用済み衛星を減速、大気圏に広川の企業と東北大
2015/05/27 西部読売新聞 朝刊 34ページ写 1065文字

■オプトン

- オプトン、本社工場内で内覧会
2015/05/19 日刊工業新聞 11ページ 138文字 PDF有

■日高精機

- 上田市と日高精機 森林整備促進へ協定結ぶ
2015/03/27 信濃毎日新聞朝刊 27ページ 326文字

■三菱電機(非会員)

- 三菱電機、加工時間30%削減するレーザー加工機
2015/05/20 日刊工業新聞 6ページ 190文字 PDF有

▶ 国際シンポジウム「TUBE & PIPE OSAKA 2015」の開催案内（日⇄英同時通訳付き）

一般社団法人 日本塑性加工学会(JSTP)ロールフォーミング分科会は「TUBE & PIPE OSAKA 2015」(International Symposium on Innovative Tube/Pipe Manufacturing & Forming)を7月に開催する。

JSTPロールフォーミング分科会は、管材の製造技術と2次加工技術およびその利用技術について、現状と将来への可能性を検討し、この分野の更なる発展を期するために、以下の内容で開催する。

- 開催日：2015年7月13-15日
- 場所：大阪国際会議場(グランキューブ大阪 <http://www.geo.co.jp/>
大阪市北区中之島5-3-51)
- 主催：(一社)日本塑性加工学会 ロールフォーミング分科会
- 特別協賛：ITA (国際管材協会)、(一社)日本鍛圧機械工業会
- 協賛：CCRSA (中国冷弯型钢協会)、JSTPチューブフォーミング分科会、(一社)日本鉄鋼協会管工学フォーラム、(一社)日本機械学会機械材料・材料加工部門
- 1. 講演会 7月13-14日(7/15の見学会は定員に達しました)
- 2. 参加費 講演会38,000円(主催、特別協賛、協賛学会会員)、42,000円(一般)、10,000円(学生)(講演聴講、プロシーディングス、昼食、夕食会費を含む)
*参加者には「MF-Tokyo 2015」(7/15-18)の無料招待券を配布。
- 3. 参加申込方法
E-mailの件名を「TUBE & PIPE OSAKA 2015申込み」と題記し、
①氏名(日本語と英語併記) ②参加者種別(所属学協会名/一般

／学生の別) ③勤務先名(日本語と英語併記) ④通信先(郵便番号、住所、電話番号、E-mail) ⑤支払金額を明記の上、下記宛E-mailにてお申し込みください。

E-mail: rollform@jstp.or.jp

4. 参加費の支払い

参加申込後、指定銀行口座へご送金下さい。

*一度お支払いいただいた参加費は、事務局の事情による場合を除き返金いたしません。

5. プログラムなど詳細は、ロールフォーミング分科会のホームページをご覧ください。

<http://www.jstp.or.jp/commit/rollform/jp/>

【問い合わせ先】

組織委員会事務局

〒770-8506 徳島市南常三島町2-1

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 長町 拓夫

Tel:088-656-9187 Fax:088-656-9082 E-mail:rollform@jstp.or.jp

▶ 公益財団法人 神奈川科学技術アカデミー (KAST) によるセミナーの案内

神奈川科学技術アカデミーは、科学技術振興と地域中小企業支援を担った神奈川県公的機関として、多様な機能を生かし「研究」「ものづくり支援」「人材育成」などの事業展開を推進している。その一環として、この10月に『塑性加工基盤技術シリーズ』として2本のセミナーを実施する。

塑性加工基盤技術シリーズ1

「塑性力学の基礎」

金属材料の塑性変形と降伏応力、変形抵抗

- 1. 開講日程：2015年10月2日(金)、8日(木)、9日(金) 全日程計3日間
各日10:00～17:00。
二日目(8日)は17:10から交流会を実施。
※1日単位の受講可
- 2. 募集人員：15名(先着順)
- 3. 開催場所：東京大学 生産技術研究所内研修室
東京都目黒区駒場4-6-1
京王井の頭線「駒場東大前」駅下車 徒歩10分
- 4. カリキュラム編成者および講師：
東京大学 生産技術研究所 教授 柳本 潤 氏
- 5. カリキュラム内容：ホームページをご覧ください。
http://www.newkast.or.jp/kyouiku/edu_h27/ed27_seminar_05.html
- 6. 受講料(消費税込)

	全日程(3日間)	1日受講
A 一般(神奈川県外企業)	59,000円	22,000円/日
B KAST法人賛助会員	47,200円	
C 神奈川県内中小企業	53,100円	
D C以外の神奈川県内企業		
E 神奈川県内在住の個人		

※学協会会員の方はご一報ください。

塑性加工基盤技術シリーズ2

「基礎から考えるプレス成形加工」

初等理論・材料の異方性・成形シミュレーション編

- 1. 開講日程：2015年10月22日(木)～23日(金) 全日程計2日間
22日は10:00～17:00。
23日は10:00～17:30で研究室見学も実施。
※1日単位の受講可
- 2. 募集人員：15名(先着順)
- 3. 開催場所：東京農工大学 小金井キャンパス内研修室
東京都小金井市中町2-24-16
JR中央線「東小金井」駅下車 徒歩10分
- 4. カリキュラム編成者および講師：
東京農工大学 工学研究院 先端機械システム部門 教授 桑原 利彦 氏
- 5. カリキュラム内容：ホームページをご覧ください。
http://www.newkast.or.jp/kyouiku/edu_h27/ed27_seminar_06.html
- 6. 受講料(消費税込)

	全日程(2日間)	1日受講
A 一般(神奈川県外企業)	39,000円	22,000円/日
B KAST法人賛助会員	31,200円	
C 神奈川県内中小企業	35,100円	
D C以外の神奈川県内企業		
E 神奈川県内在住の個人		

※学協会会員の方はご一報ください。

※両コース共、主催は(公財)神奈川科学技術アカデミー。後援・協賛には(一社)日本鍛圧機械工業会 他22団体等に申請。

【お問い合わせ・申込み方法】

公益財団法人 神奈川科学技術アカデミー 教育情報センター 教育研修グループ

Tel:044-819-2033 E-mail:ed@newkast.or.jp

お申込みは、各講座ホームページの「かんたんお申し込みフォーム」よりお申込みください。

2015-2016年度 委員会・専門部会委員一覧 (2015年7月1日現在)

1. 企画委員会 (10名)

委員長 エイチアンドエフ 宗田 世一
 委員 アイダエンジニアリング 宮下 達
 エイチアンドエフ 伊藤 敏之
 オリイメック 清水 裕市
 栗本鐵工所 木下 裕次
 コマツ産機 鈴木 英生
 住友重機械工業 中山 芳和
 トルンブ 宮島 弘之
 村田機械 今尾 泰之
 理研オプテック 木山 浩一

2. 技術委員会 (37名)

委員長 アイダエンジニアリング 北野 司
 委員 相澤鐵工所 樋口 好孝
 アイシス 岸本 信宏
 アイダエンジニアリング 寺塚 幸正
 アサイ産業 森元 寿
 旭サナック 橋本 秀之
 旭精機工業 小澤 和彦
 アマダホールディングス 熊坂 文雄
 アミノ 塩川 和良
 エイチアンドエフ 古市 祐明
 エーエス 早川 政光
 榎本機工 榎本すみれ
 大阪ジャッキ製作所 森田 寛
 オリイメック 鈴木 智彦
 川崎油工 西村 具視
 関西鐵工所 西口 博之
 栗本鐵工所 木下 裕次
 小池酸素工業 丸山 要一
 小島鐵工所 品川 一弥
 コマツ産機 畑 幸男
 コマツ産機 加端 哲也
 小森安全機研究所 小森 雅裕
 阪村機械製作所 黒川 則夫
 しのはらプレスサービス 川端 信行
 タガミ・イーエクス 高嶋 秀樹
 中田製作所 関加井 光朋
 日本電産シンボ 岩畔 哲也
 日本ムーブ 志賀 守
 能率機械製作所 岩田 啓之
 ファイントール・ジャパン 森 裕司
 富士商工マシナリー 山端 広規
 放電精密加工研究所 鈴木 功
 村田機械 宮本 隆美
 ヤマザキマザックオプトニクス 森田由紀夫
 山田ドビー 平光 和男
 理研オプテック 木山 浩一
 ロス・アジア 白井 透

2-1. MFエコマシン認証審議会 (12名)

委員長 東京大学 柳本 潤
 副委員長 ESCO推進協議会 布施 政男
 チーム長 アイダエンジニアリング 宮川 晋
 副チーム長 アマダ 旗野 公也
 副チーム長 コマツ産機 高山 幸良
 アミノ 和良
 エイチアンドエフ 古市 祐明
 オリイメック 井出 勉啓
 阪村機械製作所 黒川 則夫
 トルンブ 宮島 弘之
 村田機械 清水 泰善
 山田ドビー 平光 和男

2-2. ISO/WG1対策委員会 (11名)

主査 労働安全衛生総合研究所 齋藤 剛
 外部委員 産業安全技術協会 金子 辰巳
 三菱電機株 榎本 健男
 コマツ技術アドバイザー 高橋 岩重
 アイダエンジニアリング 寺塚 幸正
 アマダマシンツール 曾我 充正
 エイチアンドエフ 五十嵐 徹
 川崎油工 川本 晴一
 コマツ産機 畑 幸男
 日本オートマチックマシン 鈴木 清一
 山田ドビー 森 弘行

2-3. ISO/WG12対応チーム委員会 (9名)

チーム長 アイダエンジニアリング 宮川 晋
 委員 アマダエンジニアリング 大久保孝則
 アマダエンジニアリング 旗野 公也
 アマダエンジニアリング 浅見 淳一
 コマツ産機 高田 政明
 コマツ産機 津野 仁志
 トルンブ 宮島 弘之
 村田機械 清水 泰善
 アドバイザ 学術博士 上野 滋

2-4. JIS改正原案作成分科会 (10名)

副委員長 日本大学 高橋 進
 主査 エイチアンドエフ 五十嵐 徹
 委員 アイダエンジニアリング 寺塚 幸正
 アマダマシンツール 原 卓也
 川崎油工 松田 靖志
 コマツ産機 高田 政明
 住友重機械工業 閑 浩之
 村田機械 川崎 孝行
 山田ドビー 石原宗太郎
 理研オプテック 加藤 一義

3. 調査統計委員会 (8名)

委員長 アマダホールディングス 木村富美雄
 委員 アイダエンジニアリング 井上 智文
 アマダホールディングス 石川 紀夫
 コニック 木内 善範
 コマツ産機 市田 真二
 村田機械 和田 洋司
 山田ドビー 永田 晶敬
 理研オプテック 木山 浩一

4. 広報見本市委員会 (20名)

委員長 トルンブ株式会社 浜川 善和
 委員 アイダエンジニアリング 榎田 英子
 アイダエンジニアリング ティアーノデピト
 アマダホールディングス 阪井田 幸彦
 オーセンテック 高田 全
 オプトン 矢部 章司
 川崎油工 吉国 守
 小島鐵工所 児玉 太郎彦
 コニック 初岡 英俊
 コマツ産機 鈴木 英生
 しのはらプレスサービス 篠原 清人
 トルンブ 宮島 弘之
 ニッセー 深山 宗谷
 日本電産シンボ 西尾 敬三
 放電精密加工研究所 高橋 竜哉
 村田機械 足立 日光
 山田ドビー 萩原 俊明
 吉野機械製作所 岩上 實
 理研オプテック 小川 敏
 ロス・アジア 三井 智成

5. 中小企業青年委員会 (16名)

委員長 アミノ 網野 雅章
 委員 相澤鐵工所 相澤 邦充
 アイダエンジニアリング 会田 藏人
 エステーリンク 齋藤 隆範
 榎本機工 榎本すみれ
 大峰工業 安川 勝也
 コニック 波床 明洋
 小森安全機研究所 小森 知彦
 三起精工 大関 敏也
 しのはらプレスサービス 篠原 正幸
 中田製作所 中田 充
 山田ドビー 山田 梓美
 油圧機工業 奥谷 泰介
 ユタニ 辰巳 芳丈
 吉野機械製作所 吉野 靖将
 理研オプテック 三須麻衣子

6. 鍛造プレス専門部会 (12名)

委員長 栗本鐵工所 岡田 博文
 委員 アイダエンジニアリング 清水 智
 アミノ 小泉 義雅

エヌエスシー 村岡 純一
 榎本機工 小林 久雄
 栗本鐵工所 木下 裕次
 小島鐵工所 高瀬 勝美
 コマツ産機 河本基一郎
 阪村機械製作所 遠藤 信幸
 住友重機械工業 平石 研二
 日本電産シンボ 西尾契一郎
 森鉄工 竹村 新一

7. 油圧プレス専門部会 (8名)

委員長 小島鐵工所 児玉 正蔵
 委員 アサイ産業 森元 寿
 アミノ 秋山 茂和
 大阪ジャッキ製作所 森田 寛
 川崎油工 木村 直之
 小島鐵工所 櫛淵 洋二
 三起精工 岡田 栄治
 森鉄工 國塚健二郎

8. レーザ・プラズマ専門部会 (9名)

委員長 トルンブ 浜川 善和
 委員 アマダエンジニアリング 小野寺 宏
 小池酸素工業 丸山 要一
 向洋技研 橋爪 和裕
 コマツ産機 岡本 匡隆
 澁谷工業 中井 隆一
 トルンブ 岡 寛幸
 村田機械 小林 弘
 ヤマザキマザックオプトニクス 北本 哲一

9. サービス専門部会 (15名)

委員長 村田機械 前田 彰
 委員 相澤鐵工所 星山 達郎
 アイダエンジニアリング 瓦井 雅和
 アマダ 赤塚 弘志
 エイチアンドエフ 小林金一郎
 関西鐵工所 山田 知章
 小島鐵工所 長島 弘明
 コマツ産機 脇田 清爾
 小森安全機研究所 山田 輝夫
 しのはらプレスサービス 篠原 敬治
 日本電産シンボ 木田 勝仁
 村田機械 清水 理

9-1. MFスーパー特自検策定チーム (8名)

委員 アイダエンジニアリング 瓦井 雅和
 相澤鐵工所 星山 達郎
 アマダ 赤塚 弘志
 コマツ産機 脇田 清爾
 小島鐵工所 長島 弘明
 村田機械 小林 弘
 オプザーバ 安全衛生総合研究所 齋藤 剛
 コマツ産機 畑 幸男

10. 関連機器専門部会 (16名)

委員長 理研オプテック 三須 肇
 委員 エーエス 塩澤 学
 オーセンテック 高田 浩
 大峰工業 安川 勝也
 コニック 渡邊 昭
 コニック 横野 修
 小森安全機研究所 小森 雅裕
 三共製作所 石井 雅之
 しのはらプレスサービス 長谷 一寿
 日本スピンドル製造 榎垣 孝二
 日本ムーブ 志賀 守
 油圧機工業 奥谷 保明
 ユタニ 越谷 結明
 理研オプテック 越中 晃
 理研計器奈良製作所 阪森 進
 ロス・アジア 白井 透

11. 関東地区部会 (54社)

部会長 オリイメック 内田 百馬

12. 中部関西地区部会 (51社)

部会長 旭精機工業 阿比留憲史

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 会員一覧

2015年7月1日現在 五十音順・法人格省略

会員 (105社)

相澤鐵工所	ソノルカエンジニアリング
アイシス	大東スピニング
アイセル	大同マシナリー
アイダエンジニアリング	ダイマック
アサイ産業	タガミ・イーエクス
浅野研究所	伊達機械
旭サナック	ティーエスエイチ インターナショナル
旭精機工業	ティーエスプレシジョン
アマダホールディングス	東和精機
アミノ	トルンプ
IHI	中島田鉄工所
板屋製作所	中田製作所
エイチアンドエフ	ニシダ精機
エーエス	ニッセー
エー・ピーアンドティー	日本オートマチックマシン
エステーリンク	日本スピンドル製造
エヌエスシー	日本電産シンポ
榎本機工	日本ムーグ
大阪ジャッキ製作所	能率機械製作所
大阪ロール工機	Baykal Japan(バイカル ジャパン)
オーセンテック	パスカル
大峰工業	日高精機
オプトン	日立オートモティブシステムズ
オリイメック	ファインツール・ジャパン
型研精工	ファナック
金澤機械	ファブエース
川崎油工	富士機工
川副機械製作所	富士商工マシナリー
関西鐵工所	フリーベアコーポレーション
キャドマック	放電精密加工研究所
キョウシンエンジニアリング	ホンダクリエイティブ
協和マシン	松本製作所
栗本鐵工所	マテックス精工
小池酸素工業	万陽
向洋技研	三菱長崎機工
コータキ精機	宮崎機械システム
小島鐵工所	村田機械
コニック	メガテック
コマツ	モリタアンドカンパニー
コマツ産機	森鉄工
コムコ	ヤマザキマザックオプトニクス
小森安全機研究所	山田ドビー
阪村機械製作所	山本水圧工業所
阪村ホットアート	油圧機工業
サルバニーニジャパン	ユーロテック
三起精工	ユタニ
三共製作所	ヨシツカ精機
しのはらプレスサービス	吉野機械製作所
芝川製作所	理研オブテック
澁谷工業	理研計器奈良製作所
蛇の目マシン工業	理工社
杉山電機システム	ロス・アジア
住友重機械工業	



会報METAL FORM No.55 2015年7月

2015年7月1日発行 No.55 (季刊1,4,7,10の月の1日発行)

発行所 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3階 電話03(3432)4579(代)